

大森陽子のフレッシュ便

子育て応援・暮らし第一をめざして



2011年10月1日発行 土佐市蓮池337-15 電話 852-4551 大森陽子

市長は財政運営には厳しいけれど、教育・子育てには熱心だと思えます。市民図書館など複合施設は、市長公約で実現しそうです。



私のこの1年

八月五日から一週間、災害ボランティアとして福島県南相馬市に行ってきました。

放射線の除染が不十分なことで、原発の収束がまだのため、事故より半年経った現在です。子どもやお母さんなど約二万五千人が県外に避難しており、畑で野菜を作れないところもあります。

そこで、学校給食などに安全な野菜を届けようとして、「福島」野菜を送る会」を作りました（会長・徳平英竜さん）。ボランティアさんの協力を得て、大根、白菜、キャベツなどを育てています。

間引き、草引き、収穫、発送のお手伝いをしていただける方を募集中です。送料・肥料代などへの「支援」もあがります。福島は原発事故という異質な災害で、息の長い支援が必要です。ですから、こんな活動が広がれば、大きな励みになるのではないかと感じています。

九月議会報告

学校給食に安全な食材を

五〇才を超えた私たちは冷静な対応を放射線物質の影響は、細胞分裂の激しい子どもたちや生殖活動をする若い方達にとっては心配です。学校給食には地産地消を原則とする安全な食材を求めることも、五〇才を超えた私たちは冷静な対応をしようと思えました。

答え

食材については、地元の物を使うことを原則に安全性に十分配慮してきました。今後とも努力する。

続・震災で「一人でも多くの

命を救うために」今なすべきこと

六月議会に続いて、二つの課題について重ねて提案しました。

① 自主防災組織は、災害の時の要、防災担当職員が充実して地域支援を

② 速やかに避難できるように、住宅の耐震化への補助や、倒壊物から逃げるための施策を

③ 強い地震に襲われたら、消防職員も回員もまです逃げやすいルール化を

答え

住宅耐震化工事に、国・県の補助金六〇万円、市として三〇万円上乗せする。

※ 九〇万円あれば、かなりの耐震化が可能になります。検討を。

手話が出来る職員の養成を

障害者基本法改正で「手話は言語」と認められました。生まれつき耳の不自由な方にとって、筆談では意思を表すことが難しいのです。手話の出来る職員を養成するよう求めました。

答え

病院、保育園、本庁でも職員の資質向上のための研修を努める。

小中学校の教育環境の充実を

① 保健室などで特別教室と、教室の南北が壁で、朝日と西日が差し込む劣悪な環境の教室には

冷暖房設備を設置するよう「」

② 事故を起こした職員室の椅子など、老朽化した備品の整備を

③ 中学校へもデジタル教科書の導入を

答え

保健室は今年度中に冷暖房を完備する。劣悪な教室については早急に検討する。（蓮池小学校は来年度実現予定）

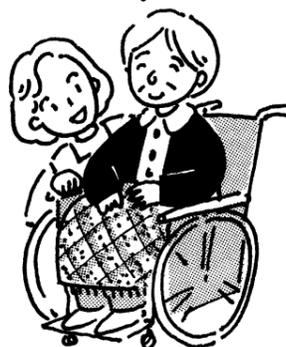
備品については学校からの要望があれば、対応する。

デジタル教科書を導入した小学校では成果を上げている。なお、精査して中学校への導入を検討したい。（来年度導入予定）



第五次土佐市介護保険計画について

年金暮らしで暮らしは大変安く利用できる施設が欲しい保険料も値上げしないでね!!



① 高齢者や要介護者に郵送したアンケート調査は、回答することが出来ない方がいて問題。調査に工夫を
② 第五次計画では市民が必要としている特老建設など、サービスを充実させること。ただし、介護保険に関する基金（貯金）を利用して保険料を値上げしないこと

答え

基金の一部は保険料の値上げの必要性が生じた場合に当たる。

陽子の自慢・千枚漬けの作り方

1. 蕪は周囲の繊維まで、厚く皮をはぐ。
2. 輪切りにスライスする。厚さは好みで。
3. 塩（2.3%）をし、砂糖8%、酢10%で漬ける。昆布、唐辛子も加える。翌日には食べられます。

私は毎年、仲間と蕪を育てて千枚漬けを作るのが楽しみです。みんな桶に2つも3つも作って、友達にあげるのが楽しみみたい。あなたも一緒に作りませんか!!

三月議会報告（抜粋）

子どもの医療費無料化案の改善を求める

子ども医療費無料化案の改善を求める
何度も要求してやっと提案された子どもの医療費無料化案でした。しかし、原案では、市民税非課税世帯のみなどについて、約八割の世帯が利用できません。あまりにも不十分な点を指摘し、改善を求めました。

議会はこれを継続審議とし、六月議会で中学校卒業まで対象を増やし、完全無料化は非課税世帯のみ、その他は月一万円を超えない額を助成することになりました。一〇月から実施です。

県下で所得制限をしている自治体はありません。また、慢性疾患に対する配慮もありませんので、今後の改善が必要です。

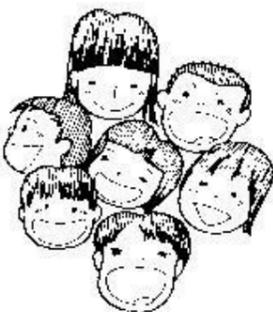
学童保育の充実を

第一小学校の学童

施設は地震が来たら一発で倒れる施設。早急な施設整備を求めました。蓮池小学校の施設については、県現化を待つ必要はありません。

いきいき元気村事業に市内業者を

この事業は自治会の要請があれば、道路の整備・水路などの土木工事に、設計単価（二〇〇万円上限）の七五％が助成されるものです。土佐市の業者を使うことを条件として明示するよう求めました。使いやすい制度です。ご利用を。



六月議会報告（抜粋）

震災で「一人でも多くの命を救うために」今すべきこと

- ① 避難場所の整備を早急
- ② 堤防よりの外にある市営住宅等の早期移転を
- ③ 保育園、小中学生の避難訓練と教育で、命を守り、防災を担う人づくりを
- ④ お年寄り、身体が不自由な方への対策を
- ⑤ 情報伝達を速やかに、耳の不自由な方へは緊急通報システムの活用を
- ⑥ 近くで起こった津波に対しては、「どこかへ逃げる」というルール化を
- ⑦ 自主防災組織の構築と、防災教育を

国・県の住宅耐震化助成制度

本市の業者を利用した場合の上乗せ助成を検討を約束。九月議会で地元業者利用の限定はありませんが、三〇万円の上乗せが実現しました。

「土佐市都市計画マスタープラン」の具現化で「住宅不適地」に住宅開発の抑制を

国土地理院が作成した「土地条件図」は、地震の時に液化化が起りやすい軟弱地盤や土地の高低も明記しており、災害の予測や開発適地の判定・評価を行うことが可能の内容になっております。

私はこれまで、川上にある山も近い川下より低い土地と知りすぎに移り住んだ皆さんが、大雨が降る度に浸水被害を受けている状況を見て、住宅不適地に対して、宅地開発を制限すべきだと思っていました。

その川上の地図の意義を述べることも、土佐市都市計画マスタープランの「浸水対策」「軟弱

地盤対策」に、宅地開発の抑制が謳われていることを根拠に、住宅不適地に対して、宅地開発を抑制するよう求めました。

関係課長も検討を約束。安心・安全のまち作りにして重要な課題です。市民の皆さんのお知恵もお借りしたいと思っております。

給付型奨学資金（月一万円）は「ほとんど応募者がいない」必要な人が利用できる制度に

何度も提案して、やっと実現し、今年度新入生から利用出来るようになった制度なのに、ほとんど応募者がありません。厳しい成績基準（平均四以上）や、在学生を排除している矛盾に加え、お知らせが不十分なためだと指摘。今後、制度を改善するよう求めました。

高齢者住宅などの建設を

最近の入居応募の状態から、戸数の増加が必要。高齢者や単身者も入居できるようなことお答えがありました。早急な実現を望みます。

介護計画に特老建設を明示するよう

必要量や計画に盛り込んでいくと市長答弁（実現予定で）



就学援助制度の親切なお知らせを
学校教育費及び
学校図書費の増額を 実現

耳の不自由な方に
市民病院で振動呼び出しベルを 実現

医療・介護問題

医療・介護問題は、最初の議会からほぼ毎回取り上げ、土佐市から医療・介護難民を出さないよう求めてきました。

一般財源を入れて国保料を安くすること
土佐市の国保会計は赤字ですが、当面、値上げをしないと市長は答弁されております。

妊産婦健
無料化を 診の 実現



土佐市にふさわしい図書館を
魅力ある街づくり計画と共に
市長公約で実現予定

市民公園（トンボ公園）のトイレ改修と整備
一三三年度に計画、一三四年度に抜本整備

蓮池公園に簡易トイレ設置を 実現

公用車にバイオ燃料の利用を 実現

市民体育館東の火渡し川両岸の
道路幅の確保を 今年度より実施中

これまでの議会で取り上げたこと

- 保育料の軽減を 実現
- 延長保育の無料化を 実現

お願い
ご意見、ご要望などお寄せ下さい。

また、議会報告の配布にご協力頂ける方、ご連絡下さい。お礼は私が作った千枚漬けをお届けさせていただきます。



- ① 反対を表明された市長の具体的な行動を
- ② 農林漁業以外への影響が大きい
- ③ TPP締結は国のかたちを壊すもの

TPP（環太平洋経済連携協定）について